

各位

会社名 株式会社アイビーダイワ
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 芳春
 (JASDAQ・コード3587)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員 井上 政隆
 電話 03-5312-6510(代)

平成23年3月期の業績予想〔日本基準〕(連結)の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期 通期連結業績予想の修正等(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり純利益
前回予想(A)	2,036	180	177	28	円 銭 0.03
今回修正(B)	1,564	165	210	22	0.29(注)
増減額(B-A)	472	15	33	50	-
増減率	23.2%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	598	360	880	1,843	3.38

(注)平成23年2月8日臨時株主総会にて「株式併合の件」を決議いたしましたので、平成23年3月1日を効力発生日として株式を1:10で併合するため発行済株式数が増加することを考慮に入れております。

2. 修正理由

当社は、平成23年3月期の業績予想を平成22年5月14日に公表いたしました。しかしながら、市況の悪化により、ディスカウント率が大きくなり売上が思うように伸びなかったこと、猛暑および鳥インフルエンザ、口蹄疫等の影響で食品市場自体が縮小したこと、重要な卸先が急な耐震改修工事のため休業し、その売上を他の卸先で埋めることに時間がかかったこと、第5回新株予約権の行使が当初の予想より遅れたため、スーパーの直営店化が11月30日まで遅れたこと、などにより業績予想に影響を及ぼすこととなりました。現在は順調に推移しておりますが、売上高は1,564百万円にとどまる見通しです。しかしながら、経費の削減等の努力の結果、営業損失は165百万円に減少する見通しです。経常損失につきましては、当初予定していた第5回新株予約権の行使に係るアレンジャーに対する支払い手数料は12.4百万円に抑えたものの、他に海外等からの資金調達を画策したため合計40百万円の費用が発生し、210百万円となる見通しです。また、当期純利益につきましては、平成22年11月5日にアダベール社株式売却の際の投資有価証券売却損が約19百万円発生し、平成22年11月24日および補足を平成22年11月25日に開示しましたとおり、当社連結子会社であったロドル社にペルテックス社から共同事業の和解金約74百万円が入金されたため、22百万円となる見通し

しです。

当初の計画から多少の遅れは出ているものの、当社の業績は順調に推移しております。第4四半期は営業キャッシュ・フローも黒字化する見通しです。特別利益によるものではありませんが、当期純利益は10年以上赤字でありましたが、ようやく黒字となり、当社の業績は改善しつつあります。

上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績は予想と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以 上